

女性のキャリアアップを推進

1月21日(水)、(株)橋口組に、女性活躍推進企業としての認定証を交付しました。
同企業は、育児・介護休業制度に関する相談体制の充実、女性技術職の積極的な採用や適性・希望を踏まえた管理職への登用、ICTを導入して業務効率化を図り、超過勤務時間を削減するなど、誰もが働きやすい職場づくりを推進しています。



土に触れ、寒さを忘れ、大満喫

1月25日(日)、少年自然の家で、ファミリー自然体験隊(冬)を実施しました。
36人の参加者は、ニンジンを取穫し、自分たちで作ったシチューで石窯ドリアを作りました。また、旬のイチゴでイチゴパフェを作り、冬の味覚を楽しく堪能しました。



野下青空市、笑顔あふれる1日に

2月1日(日)、旧野下小学校体育館で、第20回野下青空市を開催しました。
地域の方々が手作りしたかごや地元産の農産物、野下地区名産の木炭などが出展されました。販売開始の30分前から列ができるほど多くの方にお越しいただき、会場は大盛況となりました。



【情報提供：野下地区コミュニティ協議会】

熱戦を制し、初優勝

1月21日(水)、11月に鹿児島市で開催された県幼児ガーデンサッカー大会Aパートで優勝したRJジュニアールの選手11人が表敬訪問しました。

8チームが参加する中、子どもたちは白熱した試合を行い、見事初優勝を果たしました。代表の松下氏は、「本市で初となる優勝を勝ち取ることができた。今後も良い成績を残せるように頑張りたい」と語りました。



消防士が「心に寄り添う心」をテーマに意見発表

1月29日(木)、市消防局で、第45回消防職員意見発表会を実施しました。
消防職員10人が消防・防災をテーマとしてそれぞれの思いを発表しました。最優秀賞は、「心に寄り添う心」と題して発表した、東部消防署の白石消防副士長が受賞し、4月に日置市で開催される第49回鹿児島県消防職員意見発表会に市消防局代表として出場します。



光輝くすてきな1枚

2月1日(日)、センノオトで、隈小せんだんの木イルミネーションフォトコンテストの表彰式を開催しました。
毎年、隈之城小学校校庭の中央にある大きなせんだんの木にイルミネーションを設置しています。初のコンテスト開催となった今年は、32件の応募があり、松若隆幸氏がくまじょ大賞を受賞しました。



【情報提供：隈之城地区コミュニティ協議会】

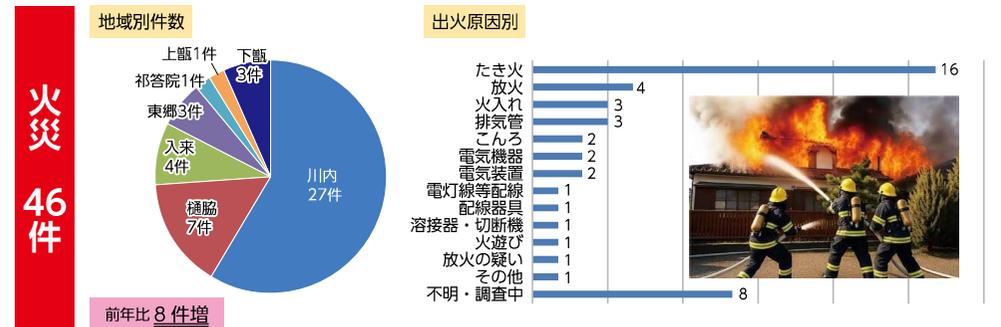
「まちの話題」は、市民の皆さんから情報提供いただき、身近な話題を掲載しています。ぜひ投稿ください。

令和7年 火災・救急統計

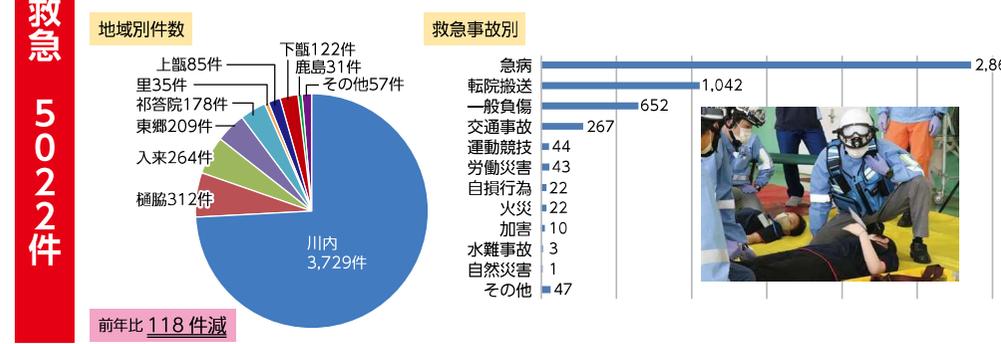
令和7年の火災件数は令和6年より8件増加し、46件でした。おおよそ8日に1件の割合で発生したことになります。火災種別は建物火災11件、林野火災6件、車両火災4件、その他の火災25件で、出火原因で最も多いのはたき火です。

たき火などの焼却行為は農作業に伴う軽微なものを除き、原則禁止されています。枯草焼きなどを行う際は、火災の煙と間違わないようにするために、消防署への届け出が必要で

また、令和8年1月1日から「林野火災注意報」・「林野火災警報」の運用を開始しました。発令中は屋外で火を使う行為が制限されます。林野火災防止のため、火の取り扱いには十分注意してください。



救急件数は令和6年より118件増加し、5,022件で過去最大の件数となりました。1日当たり約14件出場したことになります。なお、搬送人員は4,482人で、令和6年より174人の増加となりました。
救急車には限りがあります。大切な命を守るため、救急車の適正利用にご協力をお願いします。



「電光掲示板付き高規格救急車」を新たに導入!



令和7年12月から、中央消防署および東部消防署祁答院分署の救急車にLED情報板を搭載した車両を導入しました。これは救急車後方の窓に設置された表示器で、救急隊の活動状況を周囲に伝えるものです。これにより、後続車への注意喚起や聴覚障害のある方への伝達、悪天候・夜間でも高い視認性を発揮するなどの効果を期待しています。

自主防災訓練や消防訓練に、消防局防災研修センターをご利用ください。